

2020年度活動報告

●今年度の活動方針について ～オンライン授業による支援～

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて4月度が学校一斉休校になるなど、異例の幕開けとなりました。

現地での学習支援活動を行うタダゼミ（NPO 法人キッズドア実施 以下同）の活動も、一旦休止せざるを得ない状況が続きました。

ようやく夏にタダゼミが開始しましたが、休校の影響で生徒の学習面での遅れが著しく、さらに、大学生ボランティアの登録も例年になく低調という前途多難なスタートとなっていました。

東京都の感染者数が多かったこともあって全国的に移動規制がかかっており、私たちが現地に出向いて支援することもできない状況となっていました。

そこで、キッズドア側と協議検討を重ね、今年度は思い切って Zoom を使用したオンライン授業を実施することで支援することとしました。

2020.9.20 ●タダゼミ支援（オンライン授業 # 1）

・中学生に対し、「作文の書き方」についての授業を実施

⇒国語の試験において出題される作文において、手つかずの生徒が多数見られたため、作文の書き方の指導を行いました。

どうやって書けばいいのかを指導することで、大げさにとらえずに書くことができるようになってきました。

2020.11.1 ●タダゼミ支援（オンライン授業 # 2）

・中学生に対し、理科の授業を実施

⇒大学生が指導しづらい「化学変化とイオン」について授業を行いました。生徒は真剣に参加し、覚えるべきポイントが理解できたようでした。途中、接続トラブルもあり、オンライン授業の難しさも痛感しました。

2020.11.15 ●タダゼミ支援（オンライン授業#3）

・中学生に対し、数学の授業を実施

⇒多くの生徒が苦手とする「方程式の文章題」の解き方についての授業を行いました。計算力はそこそこあるのに、式を立てることができない生徒さんが多く、文章を式にするコツを伝え、目からうろこの理解ができたようでした。オンラインであっても生徒は積極的に挙手や発言ができるようになり、満足してもらえたようでした。オンライン授業のやり方が徐々にわかってきました。

2020.11.22 ●タダゼミ支援（オンライン授業#4）

・中学生に対し、理科の授業を実施

⇒大学生が指導しづらい単元である「天気」について授業を行いました。気圧や前線の意味がよくわかったようでした。理解すると得点しやすい内容なので、得点力に結びつきやすい単元でした。

2021.2.14 ●タダゼミ支援（オンライン授業#5）

・中学生に対し、理科の授業を実施

⇒「光と屈折」について授業を行いました。入試があと1か月に迫り、真剣に取り組んでいました。この回以降は事前に教材を送り、前もって生徒が解いてきている状態で授業を行いました。効率も良く、生徒さんも理解しやすかったようです。

2021.2.21 ●タダゼミ支援（オンライン授業#6）

・中学生に対し、社会の授業を実施

⇒社会の得点を左右する、「資料の読み取り」のコツを伝えました。資料を読み取る時、どこに着目してデータを見るべきかがわかっていると、選択肢から絞り込むことができるとわかったようでした。

2021.2.28 ●タダゼミ支援（オンライン授業#7）

・中学生に対し、社会の授業を実施

⇒入試まで約1週間となり、社会の頻出単元の総仕上げとして、「戦争とその後の時代の流れ」について授業しました。戦争の原因やその後について、知識を整理することができました。

2021.3.23 ●キッズドアとのオンラインミーティング

今年度の入試も終わり、全員が高校に進学することができたことの報告を受けました。

コロナ禍の中、方法を模索することが多かったものの、支援への謝意が述べられました。

今までの支援の結果、キッズドアとしても活動が軌道に乗ってきていることを確認できました。